

## 令和7年度公立高等学校入学者選抜

## 後期選抜 学力検査問題

## 数 学

## 注 意

- 1 検査係員の指示があるまで、問題冊子と解答用紙に手をふれてはいけません。
- 2 問題は【問1】から【問4】まであり、問題冊子の2～9ページに印刷されています。10ページ以降に問題はありません。
- 3 問題冊子とは別に、解答用紙があります。解答は、すべて解答用紙の  の中にかき入れなさい。
- 4 分数で答えるときは、指示のない限り、それ以上約分できない分数で答えなさい。また、解答に $\sqrt{\quad}$ を含む場合は、 $\sqrt{\quad}$ の中を最も小さい自然数にして答えなさい。
- 5 計算をしたり、図をかいたりすることが必要なときは、問題冊子のあいているところを使いなさい。

【問1】 各問いに答えなさい。

(1)  $5 + (-4)$  を計算しなさい。

(2)  $2x + 3 + 2(3x + 1)$  を計算しなさい。

(3) 連立方程式  $\begin{cases} 3x + 7y = 8 \\ x + 2y = 2 \end{cases}$  を解きなさい。

(4)  $\sqrt{9 - a}$  の値が自然数となるような自然数  $a$  を、すべて求めなさい。

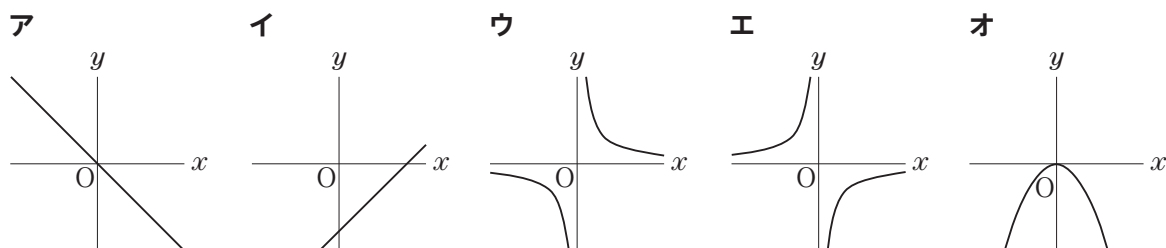
(5) 二次方程式  $2x^2 + 3x - 1 = 0$  を解きなさい。

(6) 正の整数  $a$  を 7 で割ったときの商を  $b$ 、余りを  $c$  とする。このとき、 $a$ 、 $b$ 、 $c$  の関係を表した等式として正しいものを、次のア～エから 1 つ選び、記号を書きなさい。

[ ア  $\frac{a}{7} = b + c$     イ  $a = 7b + c$     ウ  $7a = b + c$     エ  $\frac{a + c}{7} = b$  ]

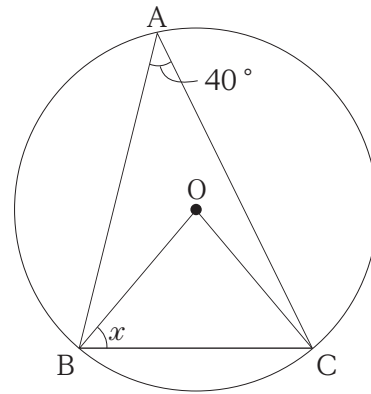
(7) 関数  $y = -3x^2$  について、 $x$  の変域が  $-2 \leq x \leq 1$  のとき、 $y$  の変域を求めなさい。

(8)  $y$  は  $x$  に反比例し、 $x = 2$  のとき  $y = -2$  である。この  $x$  と  $y$  の関係を表すグラフは、どの形で表されるか、次のア～オから 1 つ選び、記号を書きなさい。



- (9) 図1において、点A、B、Cは円Oの円周上の点である。このとき、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。

図1

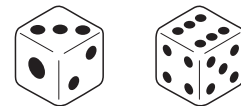


- (10) 図2のように、直線  $\ell$  上に2点O、Pがある。点Oを回転の中心として、点Pを時計まわりに $30^\circ$ だけ回転移動させた点Qを、定規とコンパスを使って作図しなさい。ただし、点Qを表す文字Qも書き、作図に用いた線は消さないこと。

図2



- (11) 2つのさいころを同時に投げるとき、出る目の数の積が12になる確率を求めなさい。ただし、どの目の出方も同様に確からしいものとする。



- (12) ある中学校では、年に3回、地域でのボランティア活動が行われている。表は、1年生全員の、ボランティア活動に参加した回数の調査結果をまとめたものであるが、一部が消えてしまった。回数が3回の生徒数を求めなさい。

表

回数(回)	度数(人)	相対度数
0	9	0.15
1	24	0.40
2		0.25
3		
計		

【問2】 各問いに答えなさい。

I 花さんと優さんは、2人で生徒会企画の「紙飛行機チャレンジ」に出場しようと考えている。2人は、自作の紙飛行機A、Bのうち、どちらを使うか検討するため、それぞれ25回飛ばし、飛距離を測定した。表は、A、Bそれぞれの測定結果について、まとめたものである。また、図1は、A、Bそれぞれの測定結果について、箱ひげ図に表したものである。

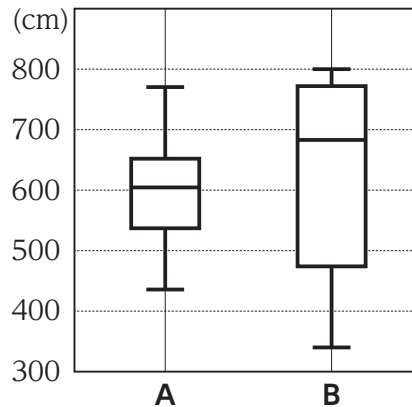
生徒会企画 **「紙飛行機チャレンジ」**

- 同じ発射台を用いて、1チーム1回、自作の紙飛行機を飛ばす。
- 発射台から、着地した紙飛行機の先端までの長さを飛距離とする。
- 最も飛距離が長いチームを優勝とする。

表

	A	B
最小値	436 cm	<input type="text" value="あ"/> cm
最大値	770 cm	800 cm
範囲	334 cm	460 cm
平均値	599.72 cm	601.36 cm
中央値	604 cm	683 cm

図1



(1) 表の  に当てはまる数を書きなさい。

(2) 花さんは、表と図1からわかることを次の文にまとめた。、 に当てはまる言葉の組み合わせとして最も適切なものを、下のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

四分位範囲は、Aの方がBより 。このことから、散らばりの程度は、Aの方がBより  といえる。

- [ ア  大きい  大きい    イ  大きい  小さい  
 ウ  小さい  大きい    エ  小さい  小さい ]

(3) 優さんは、表と図1から、Bを「紙飛行機チャレンジ」に使おうと考え、その理由を次のようにまとめた。優さんがまとめたことが正しくなるように、、 に当てはまる最も適切なものを、下のア～オから1つずつ選び、記号を書きなさい。

【優さんがまとめたこと】

Bの中央値とAの第3四分位数をくらべると、の方が小さい。Bの中央値である683 cmを基準にすると、それ以上飛んだ回数が、Bは13回以上あり、Aは最大でも回である。このことから、Bの方が飛距離が長い傾向にあるので、Bを使うとよいと考える。

- [ ア Bの中央値    イ Aの第3四分位数    ウ 5    エ 6    オ 7 ]

II 海さんは、1122 のように千の位と百の位が同じ数で、十の位と一の位が同じ数の 4 けたの正の整数について、どのような性質があるか考えた。海さんは、いくつかの数について調べたことから、次のように予想した。

**〔海さんの予想〕**

1122 = 11 × 102、5533 =  ×  であるので、1122、5533 は 11 × 整数になっている。このことから、① 千の位と百の位が同じ数で、十の位と一の位が同じ数の 4 けたの正の整数は、いつも 11 の倍数になる。

- (1) 海さんの予想が成り立つように、、 に当てはまる最も適切な数を書きなさい。
- (2) 下線部①が正しいことは、文字式を使って、11 × 整数の形に表すことで次のように説明できる。  
 に続きを書き、正しい説明を完成させなさい。

4 けたの正の整数の千の位と百の位の数を  $a$ 、十の位と一の位の数を  $b$  とすると、この数は、 $1000a + 100a + 10b + b$  と表される。

この式をまとめると、

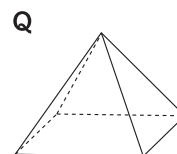
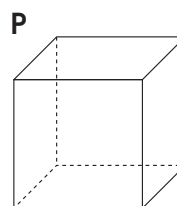
$$1000a + 100a + 10b + b$$

$$=$$

したがって、千の位と百の位が同じ数で、十の位と一の位が同じ数の 4 けたの正の整数は、11 の倍数である。

III 図 2 のように、立方体 P と正四角錐 Q がある。P、Q とともにすべての辺の長さは 12 cm である。陸さんと緑さんは、P と Q の体積をくらべたとき、どのようなことがいえるか、会話をしている。

図 2



**会話文**

陸：Q の体積は、P の体積の  $\frac{1}{3}$  だね。

緑：Q の体積は、P の体積の  $\frac{1}{3}$  より小さいのではないかな。② なぜなら、

Q の高さは、12 cm より  からだよ。Q において、底面と交わる 4 つの辺が、底面に  ではないからね。

陸：そうか。だから、Q の体積は、P の体積の  $\frac{1}{3}$  より小さいんだね。

- (1) 下線部②が正しくなるように、、 に当てはまる適切な言葉を、それぞれ書きなさい。
- (2) 体積が P の体積の  $\frac{1}{3}$  と等しい正四角錐 R をつくる。R の底面が 1 辺 12 cm の正方形であるとき、ほかの 1 辺の長さを求めなさい。

**【問3】** 各問いに答えなさい。

I 晴さんは、水筒に入れたお湯の温度が、時間ともなつてどのように変化していくのか興味をもち、調べた。水筒にお湯を入れてから  $x$  時間後のお湯の温度を  $y$  °C として、 $x$  と  $y$  の関係を表にまとめた。表で、対応する  $x$  と  $y$  の値の組を座標とする点をとると、**図1** のようになった。

**表**

$x$	0	1	2	3	4
$y$	90.0	85.8	82.0	78.1	74.0

晴さんは、**図1** から、次のように考えた。

**【晴さんの考え1】**

**図1** の5つの点が、ほぼ **あ** 上に並んでいるので、 $y$  は  $x$  の一次関数とみることができる。

- (1) **晴さんの考え1** が正しくなるように、**あ** に当てはまる適切な言葉を書きなさい。

晴さんは、4時間を超えてもお湯の温度が同じように変化を続けると考え、水筒にお湯を入れてから6時間後のお湯の温度を次のように求めた。

**【晴さんの考え2】**

一次関数のグラフが2点  $(0, 90)$ 、 $(4, 74)$  を通るとすると、傾きは **い** となる。また、この2点を通る一次関数の式は **う** となる。この式を用いて6時間後のお湯の温度を求めると、**え** °C になると推測できる。

- (2) **晴さんの考え2** が正しくなるように、**い**、**え** には当てはまる適切な数を、**う** には当てはまる適切な式を、それぞれ書きなさい。

- (3) 晴さんは、朝、水筒に入れたお湯が、5時間後の昼食時に、飲み頃だと感じる  $50.0$  °C になるようにしたいと考えた。朝、水筒に入れるときのお湯の温度を何°Cにすればよいかを、グラフ、式を用いて求める方法は、それぞれ次のように説明できる。**お** と **か** に続きを書き、正しい説明を完成させなさい。ただし、お湯の温度は、**晴さんの考え2** と同じ割合で下がるものとし、実際にお湯の温度を求める必要はない。

**【グラフを用いて求める方法】**

**図1** に点  $(5, 50)$  をとり、この点を通る傾き **い** の一次関数のグラフをかく。

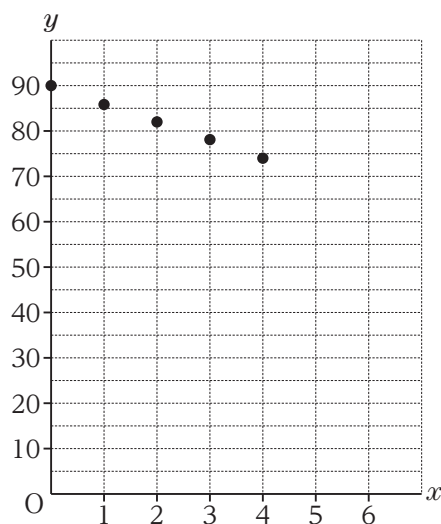
**お**

**【式を用いて求める方法】**

一次関数の式を  $y = ax + b$  とする。  
 $a =$  **い** を代入する。

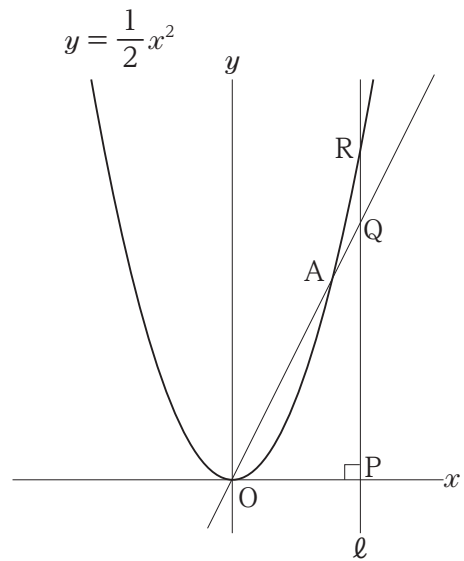
**か**

**図1**



II 図2のように、関数  $y = \frac{1}{2}x^2$  のグラフ上に  $x$  座標が4である点Aをとる。 $x$ 軸上に点Pをとり、点Pを通り  $y$  軸に平行な直線を  $\ell$  とし、 $\ell$  と直線OAの交点をQ、 $\ell$  と関数  $y = \frac{1}{2}x^2$  のグラフの交点をRとする。ただし、原点Oから点(1, 0)までの距離、および原点Oから点(0, 1)までの距離はそれぞれ1 cm とする。

図2



(1) 点Pの  $x$  の値が変化するにつれて、点Q、Rの  $y$  の値がどのように変化するかについて、次のようにまとめた。  に当てはまる最も適切なものを、下のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

点Pについて、 $x$  の値が2倍、3倍、4倍、……となるとき、  
 点Qの  $y$  の値は、2倍、3倍、4倍、……となり、  
 点Rの  $y$  の値は、  となる。

- |                                                        |                |
|--------------------------------------------------------|----------------|
| ア $\frac{1}{2}$ 倍、 $\frac{1}{3}$ 倍、 $\frac{1}{4}$ 倍、…… | イ 2倍、3倍、4倍、……  |
| ウ 2倍、4倍、6倍、……                                          | エ 4倍、9倍、16倍、…… |

(2) 点Pの  $x$  座標が6のとき、QRの長さを求めなさい。

(3) 点Pの  $x$  座標が正の数で、 $PQ = QR$  のとき、点Pの  $x$  座標を求めなさい。

(4) 2点A、Pを通る直線の傾きが  $\frac{1}{2}$  となるとき、点Rの座標を求めなさい。

【問4】 各問いに答えなさい。

I 夏さんは、図1のように幅4cmのリボンを重ね、リボンが重なった部分に着目した。

図2は、数学の作図ソフトを使い、リボンを長方形⑦、長方形⑧として表したものである。このとき、2つの長方形が重なる部分の図形を、四角形ABCDとする。ただし、リボンの幅を長方形の短い辺として、辺の長さを4cmで固定する。また、リボンの長さを長方形の長い辺として、辺の長さは自由に変えられるものとする。

(1) 夏さんは、図2の四角形ABCDは平行四辺形になると予想し、この予想が成り立つことを、次のように説明した。説明が正しくなるように、に当てはまる適切な言葉を書きなさい。

【説明】

⑦、⑧は長方形だから、四角形ABCDで、「平行四辺形になるための条件」である「がそれぞれ平行であるとき」がいえる。

したがって、四角形ABCDは平行四辺形である。

(2) 図3は、図2において、 $\angle ABC = 45^\circ$ としたものである。

- ①  $\angle BAD$ の大きさを求めなさい。
- ② 四角形ABCDの面積を求めなさい。

図1

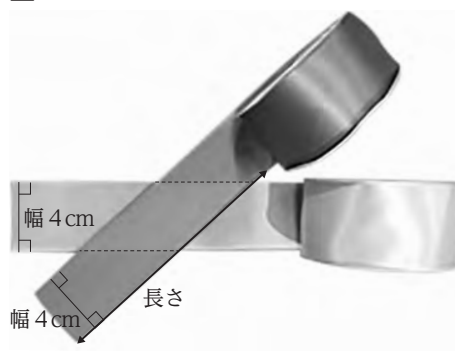


図2

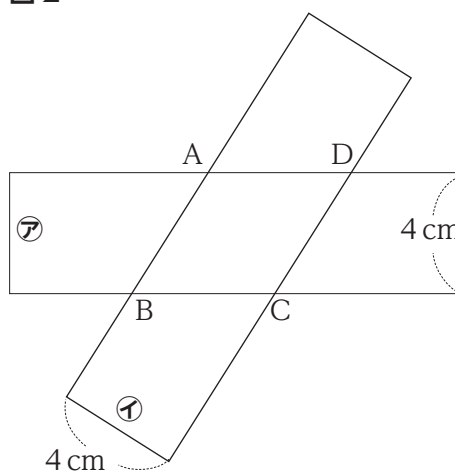
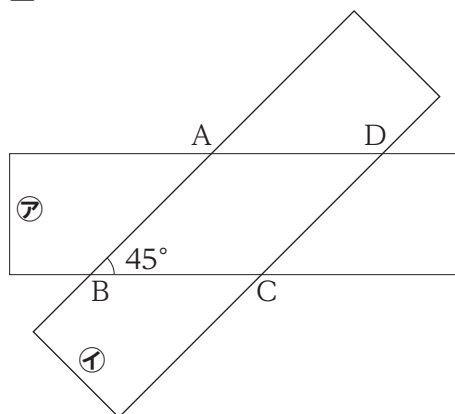


図3





II 夏さんは、さらに幅 3 cm のリボンを重ねた場合について考えることにした。

図 4 は、図 2 において、幅 3 cm のリボンを長方形㊦として表し、加えたものである。このとき、㊦が㊡と重なる部分の四角形 AEFG が長方形になるようにし、直線 AE と直線 CD の交点を P とする。ただし、㊦の短い辺を 3 cm で固定し、㊦の長い辺の長さは自由に変えられるものとする。

- (1)  $\triangle ABE \sim \triangle PCE$  を証明しなさい。
- (2) 夏さんは、 $\triangle ABE \equiv \triangle PCE$  となるのはどのようなときか調べた。図 5 は、図 4 において、㊧を、点 A を回転の中心として、 $\triangle ABE \equiv \triangle PCE$  となるように回転させたものである。

①  $\angle BAE$  の大きさを求めなさい。

② PD の長さを求めなさい。

- (3) 図 6 は、図 4 において、㊧を、点 A を回転の中心として、点 C と点 F が重なるように回転させたものである。このとき、 $BE : EC$  を求め、最も簡単な整数の比で表しなさい。ただし、点 F を省いて表している。

図 4

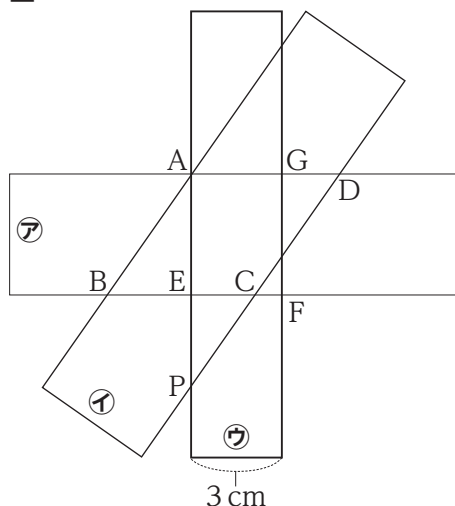


図 5

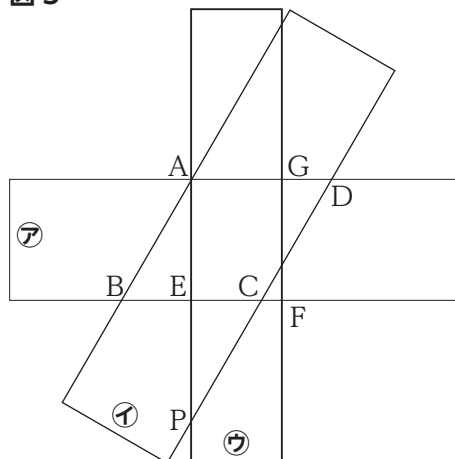
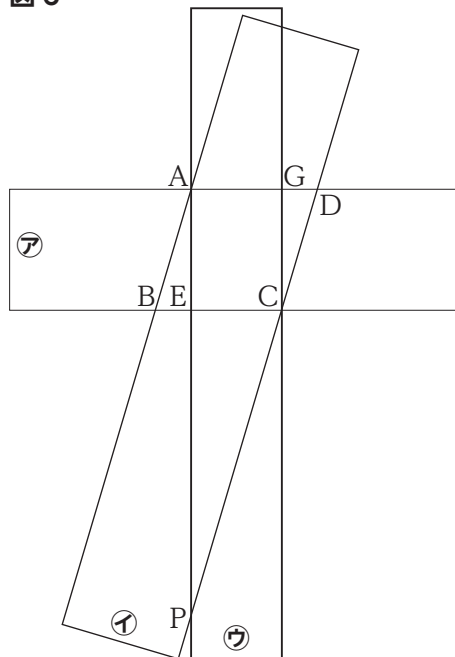



図 6



【問 1】

(1)	
(2)	
(3)	$x = \quad, y = \quad$
(4)	$a = \quad$
(5)	$x = \quad$
(6)	
(7)	$\leq y \leq \quad$
(8)	
(9)	$\angle x = \quad^\circ$

(10) 

(11)

(12)  人

問 1 計

【問 2】 I

(1)	<input type="text"/> cm	え	<input type="text"/>
(2)	<input type="text"/>	(3) お	<input type="text"/>

II

	か	き
(1)	<input type="text"/>	<input type="text"/>
(2)	$1000a + 100a + 10b + b$ $=$ <input type="text"/>	
したがって、千の位と百の位が同じ数で、十の位と一の位が同じ数の4けたの正の整数は、11の倍数である。		

III

(1)	< <input type="text"/>	(2) <input type="text"/> cm
け	<input type="text"/>	

問 2 計

【問 3】 I

(1)	<input type="text"/>
(2)	い <input type="text"/>
	う $y =$ <input type="text"/>
え	<input type="text"/> °C
(3)	お <input type="text"/>
	か <input type="text"/>

II

(1)	<input type="text"/>
(2)	<input type="text"/> cm
(3)	<input type="text"/>
(4)	( <input type="text"/> , <input type="text"/> )

問 3 計

【問 4】 I

(1)	<input type="text"/>	がそれぞれ平行であるとき
(2)	① <input type="text"/> °	
	② <input type="text"/> cm <sup>2</sup>	

II

(1)	<input type="text"/>	
(2)	① <input type="text"/> °	
	② <input type="text"/> cm	
(3)	BE : EC = <input type="text"/> :	

問 4 計

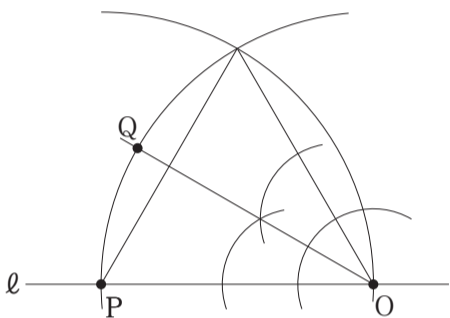
得点合計

令和7年度公立高等学校入学者選抜 後期選抜 学力検査問題 数学 正答・正答例及び評価基準

※解答欄に単位、語句等が印刷されている問題では、正しい単位、語句等が重複して書かれていても正答とする。

※複数の小問をあわせて配点しているものは、すべて正しい場合のみ正答とする。

※「正答または正答例」の欄に(例)と示されている小問では、前後の文脈により正答例と同等の内容であると判断できる場合の誤字、脱字は減点しない。

問題番号		正答または正答例	配点		評価上の留意事項
問	小問		小問	計	
1	(1)	1	3	36	(2)は、「 $5 + 8x$ 」等も正答とする。  (4)は、順序は問わない。 (5)は、「 $-\frac{3}{4} \pm \frac{\sqrt{17}}{4}$ 」等も正答とする。  (10)は、定規とコンパスを使って、点Oを回転の中心として、点Pを時計回りに $30^\circ$ だけ回転移動させた点Qが作図されているものを評価の対象とする。 正答例の場合では、 ・線分OPを1辺とする正三角形の $\angle O$ の二等分線が作図され、その二等分線上に $OP = OQ$ となる点Qがかかれているものを正答とする。 ・点Qの位置を表す黒丸(●)の有無は問わない。 ・正答例以外の作図もこれに準ずる。
	(2)	$8x + 5$	3		
	(3)	$(x =) - 2, (y =) 2$	3		
	(4)	$(a =) 5, 8$	3		
	(5)	$(x =) \frac{-3 \pm \sqrt{17}}{4}$	3		
	(6)	イ	3		
	(7)	$-12 (\leq y \leq) 0$	3		
	(8)	エ	3		
	(9)	$(\angle x =) 50 (^\circ)$	3		
	(10)	(例) 	3		
	(11)	$\frac{1}{9}$	3		
	(12)	12 (人)	3		

問題番号		正答または正答例	配点		評価上の留意事項	
問	小問		小問	計		
2	I	(1)	340 (cm)	2	II (1)か、きは、順序は問わない。  II (2)は、(a)または(c)の内容が書かれているものを評価の対象とし、(a) (b) (e) または(c) (d) (e) が書かれているものを正答とする。 (a) 「 $11(100a + b)$ 」が書かれている。 (b) 「 $100a + b$ は整数だから」と同等の内容が書かれている。 (c) 「 $1100a + 11b$ 」が書かれている。 (d) 「 $1100a, 11b$ が11の倍数で、11の倍数の和は11の倍数である」と同等の内容が書かれている。 (e) 「 $11(100a + b)$ は11の倍数である」と同等の内容が書かれている。 ・(b)または(d)に不備があるもの、(e)に不備があるものはそれぞれ1点減点とする。  III (1)くは、「低い」等正答例と同等の内容が書かれているものを正答とする。 III (1)けは、正答例と同等の内容が書かれているものを正答とする。	
		(2)	エ	3		
		え	イ	3		
	II	(1)	か	11		2
		き	503	2		
	III	(1)	く	(例) 小さい		3
			け	(例) 垂直		
	II	(2)	(例) $(1000a + 100a + 10b + b =) 1100a + 11b = 11(100a + b)$ $100a + b$ は整数だから、 $11(100a + b)$ は11の倍数である。	20		4
			(2)	$6\sqrt{6}$ (cm)		

問題番号		正答または正答例	配点		評価上の留意事項	
問	小問		小問	計		
3	I	(1)	(例) 一直線	2	I (1)は、正答例と同等の内容が書かれているものを正答とする。  I (2)うは、「 $90 - 4x$ 」等も正答とする。  I (2)えは、「66.0」も正答とする。  I (3)おは、正答例と同等の内容が書かれているものを正答とする。  I (3)かは、(a) (b)について書かれているものを正答とする。 (a)「 $x = 5, y = 50$ を代入すること」と同等の内容が書かれている。 (b)「 $b$ の値を求めること」と同等の内容が書かれている。	
		い	-4	1		
		(2)	う	$(y =) - 4x + 90$		2
		え	66 (°C)	2		
		お	(例) かいた直線の切片の値を読みとる。	3		
		(3)	か	(例) $x = 5, y = 50$ を代入して、 $b$ の値を求める。		3
	II	(1)	エ	2		
		(2)	6 (cm)	3		
		(3)	8	3		
		(4)	$(-12, 72)$	3		

問題番号		正答または正答例	配点		評価上の留意事項	
問	小問		小問	計		
4	I	(1)	(例) 2組の向かいあう辺	3	I (1)は、「2組の対辺」等正答例と同等の内容が書かれているものを正答とする。  II (1)は、 $\triangle ABE \sim \triangle PCE$ の証明が完結しているものを評価の対象とする。 正答例の場合では、 ・①、②及び $\triangle ABE$ の $\triangle PCE$ がすべて書かれているものを $\triangle ABE \sim \triangle PCE$ の証明が完結しているとする。 ・①、②が書かれていても、①、②に至るまでの理由に不備がある場合は、①、②のそれぞれについて1点減点とする。 ・「2組の角が、それぞれ等しい」という条件が書かれていない場合は、1点減点とする。 ・正答例以外の証明もこれに準ずる。  II (2)②は、「 $\frac{16\sqrt{3}}{3}$ 」も正答とする。	
		①	135 (°)	2		
		(2)	②	$16\sqrt{2}$ (cm <sup>2</sup> )		3
	II	(1)	(例) $\triangle ABE$ と $\triangle PCE$ で、 対頂角は等しいから、 $\angle AEB = \angle PEC \dots\dots ①$ 長方形④の向かいあう辺はそれぞれ平行だから、 平行線の錯角は等しいから $\angle ABE = \angle PCE \dots\dots ②$ ①、②から、 2組の角が、それぞれ等しいので、 $\triangle ABE \sim \triangle PCE$	20		4
			(1)	$30 (^\circ)$		
	II	(2)	①	$\frac{16\sqrt{3}}{3}$ (cm)		3
			(3)	$(BE : EC =) 7 : 18$		3

## 令和7年度公立高等学校入学者選抜

## 前期選抜 学力検査問題

## 検査Ⅱ（数・理）

(30分)

## 注 意

- 1 検査係員の指示があるまで、問題冊子と解答用紙に手をふれてはいけません。
- 2 問題は【問1】から【問2】まであり、問題冊子の2～5ページに印刷されています。6ページ以降に問題はありません。
- 3 問題冊子とは別に、解答用紙があります。解答は、すべて解答用紙の  の中に記号で書き入れなさい。
- 4 計算をしたり、図をかいたりすることが必要なときは、問題冊子のあいているところを使いなさい。

【問1】 各問いに答えなさい。

(1)  $3 - 5$  の計算結果として正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

[ ア  $-8$       イ  $-2$       ウ  $2$       エ  $8$  ]

(2)  $4xy \times (-2x)$  の計算結果として正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

[ ア  $-8xy$       イ  $-8x^2y$       ウ  $2x^2y$       エ  $8xy$  ]

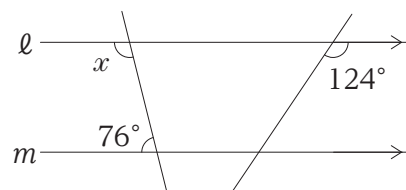
(3) 二次方程式  $x^2 - 5x + 6 = 0$  の解として正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

[ ア  $x = -3, -2$       イ  $x = -1, 6$       ウ  $x = -6, 1$       エ  $x = 2, 3$  ]

(4) 図1において、 $l \parallel m$  のとき、 $\angle x$  の大きさを、次のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

[ ア  $56^\circ$       イ  $76^\circ$       ウ  $104^\circ$       エ  $124^\circ$  ]

図1



(5) 資料は、あるクラスの徒歩で通学する生徒9名の通学時間を調べ、その値を左から小さい順に並べたものである。通学時間の最頻値を、次のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

【資料】

9、18、18、18、27、36、36、45、45

(単位：分)

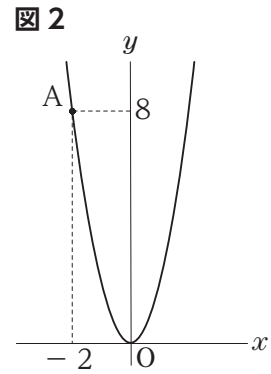
[ ア 18分      イ 27分      ウ 28分      エ 45分 ]

(6) 底辺が6 cm、高さが  $x$  cm の三角形の面積を  $y$   $\text{cm}^2$  とする。このとき、 $x$  と  $y$  の関係について正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

[ ア  $y$  は  $x$  に比例する。  
イ  $y$  は  $x$  に反比例する。  
ウ  $y$  は  $x$  の2乗に比例する。  
エ  $y$  は  $x$  の関数ではない。 ]

- (7) 図2のように、関数  $y = ax^2$  のグラフ上に、点A(-2, 8)がある。このとき、比例定数  $a$  の値を、次のア~エから1つ選び、記号を書きなさい。

[ ア -4      イ -2      ウ 2      エ 4 ]



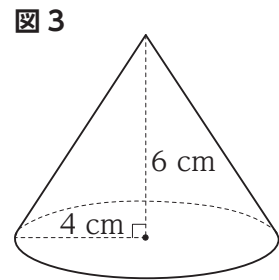
- (8) 異なる2枚の硬貨を同時に投げるとき、1枚は表で1枚は裏となる確率を、次のア~エから1つ選び、記号を書きなさい。ただし、この2枚の硬貨の表と裏の出方は、同様に確からしいものとする。

[ ア  $\frac{1}{4}$       イ  $\frac{1}{3}$       ウ  $\frac{1}{2}$       エ 1 ]

- (9) 図3は、底面の半径が4 cmで高さが6 cmの円錐である。

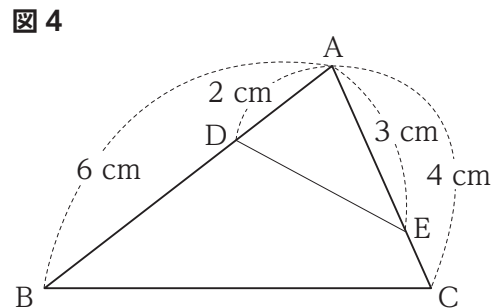
この円錐の体積を、次のア~エから1つ選び、記号を書きなさい。ただし、円周率を  $\pi$  とする。

[ ア  $16\pi \text{ cm}^3$       イ  $32\pi \text{ cm}^3$  ]  
 [ ウ  $48\pi \text{ cm}^3$       エ  $96\pi \text{ cm}^3$  ]



- (10) 図4において、 $\triangle ABC \sim \triangle AED$  である。このとき、 $\triangle ABC \sim \triangle AED$  の根拠となることとして、最も適切なものを、次のア~ウから1つ選び、記号を書きなさい。

[ ア  $\angle BAC = \angle EDA$ 、 $\angle ABC = \angle ADE$  ]  
 [ イ  $AD : DB = AE : EC = DE : BC$  ]  
 [ ウ  $\angle BAC = \angle EAD$ 、 $AB : AE = AC : AD$  ]



受検 番号		志望 校名	
----------	--	----------	--

※解答は、すべて  の中に記号で書き入れなさい。

**【問1】**

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	
(9)	
(10)	

**【問2】**

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	
(9)	①
	②

問1 計

--

問2 計

--

得点合計

--

令和 7 年度公立高等学校入学者選抜 前期選抜 検査Ⅱ 正答  
(各 4 点)

【問 1】

(1)	イ
(2)	イ
(3)	エ
(4)	ウ
(5)	ア
(6)	ア
(7)	ウ
(8)	ウ
(9)	イ
(10)	ウ